

## 議長記者会見録

日時 令和8年3月30日（月）13時15分～13時48分

場所 議会棟 3階 議会運営委員会室

### ○議会事務局

これより議長記者会見を始めさせていただきます。

本日の進行ですが、まず、外間議長からご挨拶がございます。

続きまして、ごう副議長から新任のご挨拶がございます。

その後、幹事社からの質問、各社からの質問ということで、記者会見の時間は30分程度を予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、外間議長からご挨拶をお願いいたします。

### ○外間議長

本日は、報道各社の皆様にお集まりいただき、誠にありがとうございます。また、今定例会の運営・広報に関して、様々なご協力を賜り、重ねて感謝申し上げます。

最初に3月定例会を終えての所感を述べさせていただきます。

今定例会においては、新年度予算や「国の経済対策」に伴う補正予算のほか、九州新幹線西九州ルートを整備促進、物価高騰対策、石木ダム建設、産業振興など、当面する県政の重要課題について、活発な論議が交わされました。

また、新しく平田知事をご就任されましたが、本県議会といたしましては、今後とも知事の進める重要施策に対し、二元代表制の一翼を担う立場から県勢発展のため、熱心に議論を重ねることにより、議会としての役割をしっかりと果たしてまいりたいと考えております。

さて、昨年7月の議長就任以降、開会式に天皇皇后両陛下のご臨席を賜った「ながさきピース文化祭2025」や「ツール・ド・九州2025佐世保クリテリウム」への出席のほか、さらなる交流促進等を目的とするタイや中国への訪問など、県政の発展にひたすら尽力してまいりました。

ピース文化祭は、総参加者数が223万人を超え、当初見込みを大きく上回り、経済波及効果も約182億円にのぼるなど大変な盛況となりました。この成果が一過性のもものとならないよう、県当局と連携した取組を進めてまいりたいと考えております。

本日は、前回7月の記者会見以降、今日までの議長としての活動や県議会に関する事項について、ご報告いたします。

まず、国等への要望活動について、でございます。

「財政基盤強化対策 県議会議長 協議会」の会長として、全国17県議会を代表し、「地方税財源の拡充・強化」について、昨年10月、関係省庁等に対して要望活動を実施いたしました。

このほか知事とともに首相官邸や関係省庁等に対し、「九州新幹線西九州ルート of 整備促進」、「防災・減災・国土強靱化の予算確保」、「有人国境離島法の改正・延長」などの要望活動を実施し、本県の重要施策の実現に向けて取り組んでまいりました。

次に、高校生や大学生との交流について、でございます。

若い世代の政治参加意識の低さが課題となるなか、将来のふるさと長崎県を担う若い世代の皆さんが今、何を考え、どのような問題意識を持っているかを、私たち議員が直接意見交換し感じ取ることや、私たち議員の思いを若い世代に直接伝えることが重要と考え、本県議会では大学生及び高校生を対象とした意見交換会を実施しております。

私は議長として自ら主権者教育に取り組む姿勢を対外的に示すことが重要だと考え、昨年10月には、本県議会と連携協定を締結している長崎県立大学において、約170名の学生に対して講演を行いました。また、高校生の声を聴くことも重要であると考え、私の出身校でもある佐世保北高校において、今年5月に講演し、意見交換を行います。

今後も、将来の地方自治を担う若い世代の皆さんの政治参加意識の醸成及び向上を図るために、議員と若い世代が直接交流できるような場を設けることに取り組んでまいります。

次に、佐賀県議会との連携について、でございます。

九州新幹線西九州ルート of 整備推進など、広域的な課題に対応するため、佐賀・長崎の両県議会議員が一堂に会し、共通する諸課題についての意見交換を通して、信頼関係を深め、課題の解決に資することを目的に交流会を開催しており、今年度は昨年11月に佐賀市で開催しました。

両県は新幹線以外にも多くの共通の課題を有しており、こうした課題へ一体的に取り組むためにも、今後ともこのような交流を継続していくことが重要であると考えております。

次に、広島県議会との連携について、でございます。

昨年12月、広島県議会の中本議長より、被爆・終戦から80年という節目の年を契機に「核兵器廃絶と恒久平和の実現」に向け、広島・長崎の両県議会の交流・連携についてのご提案をいただきました。

世界で唯一原子爆弾の惨禍を経験した長崎と広島 of 両県議会の連携は、平和メッセージの国内外への力強い発信につながるなど、その意義は非常に大きいものであり、本県議会内の協議でも、全会一致で広島県議会との交流・連携への賛同が得られたところであります。

今後、事務的な調整を進めていくことにはなりますが、今年は、8月開催の平和記念式典の時期に併せた両県議会の議員の相互訪問、その後、秋頃を目途に広島県議会の議員の方々をお招きし、長崎市内の平和関連施設等の視察・意見交換などを検討しており、これらを通して両県議会の交流・連携を深めていくことを考えております。

次に、議会改革の取組について、でございます。

近年、自然災害が激甚化・頻発化するなか、災害時においても議会機能を十分に発揮できるようにするため、昨年12月、災害発生時の初動の議会運営手続等を確認するべく、本県議会で初となる避難訓練を実施し、防災意識の高揚及び防災力の向上を図ったところです。

引き続き、時代の変化に対応した議会運営の取組を一つひとつ着実に進めてまいりたいと考えております。

結びになりますが、本県では人口減少対策、物価高騰対策、九州新幹線西九州ルート  
の整備促進、離島・半島振興対策など、多くの課題を有しております。

引き続き、県民の皆様に寄り添い、ご意見を真摯に受け止め、県議会が一丸となって課題解決に取り組んでまいりたいと考えております。

以上、私からの冒頭の挨拶とさせていただきます。

本日は、よろしく願いいたします。

#### ○議会事務局

続きまして、ごう副議長から新任のご挨拶がございます。

#### ○ごう副議長

3月定例会の開会日に多くの議員のご推挙をいただき、長崎県議会第96代 副議長に選出いただきました、ごう まなみ でございます。

副議長という要職を仰せつかり、誠に光栄に存じますとともに、その職責の重さに身の引き締まる思いです。

本県は、若者の転出超過による人口減少が続いており、人口減少対策は最重要課題であります。

このほかにも議長のご発言にもございましたが、九州新幹線西九州ルート  
の整備促進、離島・半島振興対策など、多くの課題を有しております。

これらの課題解決に向け、県議会が十分にその役割を果たせるよう、外間議長を補佐し、公平公正で円滑な議会運営に努めてまいりたいと考えておりますので、皆様のご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、40年ぶりの女性の副議長ということで、女性活躍の時代をけん引できる一人となれるよう尽力してまいり所存でございます。

はなはだ簡単ではございますが、副議長就任のご挨拶とさせていただきます。

よろしくお願い申し上げます。

#### ○議会事務局

ありがとうございました。

これより質問をお受けしたいと存じますが、ご発言いただく際は会社名とお名前をお

願いたします。

#### ○時事通信社

外間議長及びごう副議長にお伺いします。

3月定例会において、平田知事が編成された新年度予算案が可決されましたが、新年度予算についてどのように評価していらっしゃいますか。

#### ○外間議長

新年度予算をはじめ、提案された全ての議案が可決されたことがその評価だと考えています。新年度予算は、物価高騰対策や県の重要施策などにしっかりと対応した内容と規模であると思います。

#### ○ごう副議長

新年度予算においては、国において措置された交付金などを県民のために役立てていくとの思いの中で組み立てられたものと思っております。より早く県民の皆様へ効果を届けていくということを重要視したものであると考えております。

#### ○時事通信社

外間議長にお伺いします。

九州新幹線西九州ルートの整備について、平田知事も佐賀県の山口知事と面会されるなど動かれています。議会としてどのようにアプローチしていくのかお考えがあればお聞かせください。

#### ○外間議長

九州各県の議会で構成する九州議長会において、「九州における新幹線網の整備促進」などについて、九州各県議会議長とともに、与党や関係省庁に対して要望活動を継続的に実施しています。

報道によりますと、昨年10月以降、国土交通省の水嶋事務次官と佐賀県の山口知事が複数回面会し、佐賀県の財政負担軽減を含めた意見交換がなされているような動きも出てきており、また、平田知事におかれても、過日、就任あいさつということで山口知事と面会し、直接、意見交換され、佐賀県、JR九州、国交省など関係者との更なる信頼関係を構築し、議論が前進することを議会としても期待しております。

本県議会としても佐賀県議会との意見交換を積極的に行いながら、理事者とも連携して県民の悲願である全線フル規格の実現を目指してまいりたいと考えております。

#### ○時事通信社

外間議長にお伺いします。

3月定例会において、議長の不信任決議案が可決されましたが、議長としてどのように受け止めていらっしゃるでしょうか。

#### ○外間議長

私としましては、議長の職務について、誠心誠意取り組んできたところであり、今回の決議には納得がいかない部分も多々ございます。ただ、議会の決議については重く受け止める必要がありますので、今日の可決という状況を踏まえまして、更に議長としての重責を果たしてまいりたいと考えております。

#### ○毎日新聞

外間議長にお伺いします。

議長の不信任決議案が可決されたということで、今後、議長職を辞するという考えはありますか。

#### ○外間議長

出処進退については、私自身が決めることであると考えており、議長としての重責を果たしていくことが、私に課せられた責務であると思っております。

#### ○毎日新聞

外間議長にお伺いします。

議長の不信任決議案が可決されたことについて、来年の統一地方選挙への影響をどのようにお考えですか。

#### ○外間議長

開かれた県議会のため、忠実に議長の役割を果たし、再び統一地方選挙に臨みたいと考えています。

#### ○朝日新聞

外間議長にお伺いします。

可決された議長の不信任決議案の動議の中で、知事選挙において片方の候補者のみを応援したことに対して議長としての中立性に問題があること、議長としての公務に代理を立てずに欠席したことに問題があることが挙げられていましたが、このことについて議長はどのようにお考えですか。

### ○外間議長

衆議院議員選挙と県知事選挙という大型選挙が同時期に行われ、自民党の県議会議員として選挙に関わり、その役割を果たすべく努力をいたしました。

御指摘を受けた議長として中立性に欠ける行動があったことについては、各派代表者会議の場や党の会議の場における様々な意見を深く受け止め、今後二度と同じようなことがないようにお詫びをしたところです。

ただ、あえて申し上げるならば、選挙期間中に国土交通大臣が来崎されるということ、長崎県の重要課題を直接要望できる絶好の機会であることから、一定公務であると判断し、他の行事との優先順位を付けて、国土交通大臣との面会を優先いたしました。このことに伴いまして、教育庁主催の行事については事前に欠席する旨を伝えましたが、来賓祝辞が予定されているものの、選挙期間中ということで議長代理を立てなかったことにつきましては、深く反省すべき点があると考えております。

### ○朝日新聞

外間議長にお伺いします。

お答えがあった前者の知事選挙において片方の候補者のみを応援したことについては、議長としての立場を利用したということではなく、県議会議員として必要な行動であったとお考えであると理解しました。

後者の公務欠席については、反省すべき点があるとのことでしたが、公務を欠席したことについてでしょうか、代理を立てなかったことについてでしょうか。

### ○外間議長

欠席することについて、事前に主催者へ伝達し、了承を得ていたものの、そのことを副議長や所管である文教厚生委員長へお伝えせず、議長代理を立てなかったことに対して反省し、お詫びを申し上げたところです。

### ○朝日新聞

外間議長及びごう副議長にお伺いします。

平田知事が就任され、石木ダム建設や新幹線整備といった県政の重要課題に対して、就任直後から関係者と面会されるなど積極的に動かされており、県職員に向けても体内時計を2倍にしてほしい、処理速度を上げてほしいとの話があります。このような知事の姿勢を受けて、県議会としても、意識を高め、対応していくことも必要になるのではないかと思います。どのようにお考えですか。

### ○外間議長

平田知事は国土交通省出身ということで、その経験を生かした活躍に大いに期待する

ところです。また、就任直後から積極的に行動されていることについても評価しています。行動力と実績のある平田知事のような方とタッグを組み、県政発展のため、県民の付託を受けた議会と知事が、緊張感のある関係の下、熱心に議論を重ねていくことがとても重要であると思っておりますので、知事とともに歩めるよう、県議会としましても、最善の努力をしていきたいと考えています。

#### ○ごう副議長

平田知事は、国土交通省における豊富な経験や本県の副知事を5年間務めるなど、長崎県のことにも十分に熟知された方です。選挙期間中から「決める」「動く」「変わる」という3つの姿勢をおっしゃっていました。

私たち県議会議員は県内21市町の代表でありますので、私たち自身が地域の課題を知事にお伝えし、課題解決につなげるなど、これまで以上にスピード感を持ってやっていくことは重要であると思っております。

#### ○長崎新聞

外間議長にお伺いします。

知事選挙に関連して議長の不信任決議案が可決されました。自民党県連における処分について、党内で賛成・反対の意見が分かれているところ、党本部から融和に向けた動きがある中で、今回、不信任決議案が可決されました。自民党県連内で意見が割れている現状について、議長はどのようにお考えですか。

#### ○外間議長

私は、自由民主党の所属議員ですが、現在は議長という立場で会見に臨んでおりますので、特定政党の活動内容についての発言は控えさせていただきます。

#### ○長崎新聞

ごう副議長にお伺いします。

40年ぶりの女性の副議長に就任され、先ほどの挨拶の中でも女性活躍をけん引していきたいとの決意がありましたが、長崎県内における性差に関する現状の課題認識と課題解決に向けて具体的にどのように行動していかれるのか教えてください。

#### ○ごう副議長

現状については、様々な調査結果等において、男女平等と思うかという問いに対し、肯定する県民の回答は低い水準にあることが県内の現状を物語っているものと感じています。また、企業内の女性管理職や女性経営者の割合等も少し遅れをとっているのではないかと感じています。

女性活躍をけん引する一人となれるよう、私自身が積極的に前へ出ていき、その姿を県民に見ていただくことで県民の機運を高めていけるのではないかと思います。また、県政の様々な課題の中で女性に関わる課題も非常に多くあります。例えば、産科がなくなっている状態で、里帰り出産ができなくなっていることや、女性の県外流出が非常に多いといったことなどがあり、女性という立場からしっかりと課題解決に向けて力を尽くしていきたいと考えております。

#### ○NHK

外間議長にお伺いします。

先ほど質問への回答の中で、議長の不信任決議案を受けて、納得がいかない部分が多々あると発言されていましたが、どのようなことに納得がいかないの思いがあるのでしょうか。

#### ○外間議長

冒頭挨拶において申し上げましたとおり、議長として議会運営について、忠実にその重責を果たすことについては、一定努力してきたところです。しかしながら、今回、公務欠席の件、議長としての中立性の件についての2点を指摘されました。議長という職務を果たす上で、県民不在ではない開かれた県議会を目指し、議員同士もしっかりと連携していくことを心掛け、丁寧に行ってきたつもりですが、今回厳しく指摘されましたので、少し納得がいかない部分があります。

#### ○議会事務局

他に質問はございませんか。

他に質問がないようですので、以上をもちまして記者会見を終了させていただきます。

※ 発言内容については、分かりやすいように一部変更している部分があります。